

## 令和5年度 卓越した技能者（現代の名工） 被表彰者について

氏名・住所	職種	所属	技能功績の概要
小野澤 幸造（男） （67歳）  富山市	木製家具 ・建具製造工	有限会社 小野沢家具店	<p>木製家具の製造に長年従事し、特に「桐」を用いた家具製作に卓越している。桐材の家具製作において、板の接合に用いる工法である「組手」に改良を行い、常に同じ形状にでき、目割れが起きにくくすることを可能としたほか、板に溝を作り、棧を差し込んで組み立てる工法を取り入れることで、板の乾燥によって板割れが起こる問題を改良した。</p> <p>また、手法や技能を後進である子息に伝授するほか、富山県家具組合連合会の専務理事として展示会を開催するなど、家具業界の発展に尽力している。</p>
奥 哲夫（男） （64歳）  上市町	内装仕上工	奥インテリア	<p>内装仕上工の仕事に長年従事し、壁面から床仕上げに至るまで、内装仕上げ全般の幅広い業務をこなす知識・技能を有している。特に、デコラティブフィルムの施工に高い技術を有するほか、床貼り施工時の状況見極めに卓越しており、状況に応じた適切な施工法を見極めることで、他者より数十分の作業時間短縮を可能としている。</p> <p>また、自身が技能グランプリに出場（敢闘賞受賞）した経験から、若手出場者の育成に取り組むほか、高校への出前講座で講師を務めるなど、後進の指導育成にも尽力している。</p>
斉藤 慎二（男） （65歳）  高岡市	漆器工	斉藤漆工房	<p>漆器工の仕事に長年従事し、伝統技法である高岡漆器の塗り全般に優れた技術を有している。特に、漆の選別や刷毛塗りの技術に卓越しているほか、変わり塗り技術にも優れ、塗り・乾燥・研ぎの繰り返し工程の中で漆特有の性質・質感を生かした不規則な模様を作品の表情とし、色のグラデーションやバランスを考慮した作品制作を可能としている。</p> <p>また、伝統工芸の匠として継承者の育成指導に尽力するほか、児童生徒や一般向け体験で講師を務めるなど、後進指導・普及啓発に大きく貢献している。</p>